

ワーキングチームにおける検討状況

厚生労働省

日本製薬工業協会と日本医薬品卸売業連合会のWT (製薬協) (卸連)

1. 主な検討事項

一次売差マイナスと割戻し・アローアンスの拡大傾向の改善に向けた取組

- ・取引の透明性の一層の確保
- ・仕切価等の速やかな提示等
- ・適正な仕切価水準の設定
- ・割戻し・アローアンスの整理・縮小と基準の明確化

2. 開催状況

平成24年度 2回(9月、2月)

平成25年度 2回(5月、1月)

平成26年度 1回(6月)

3. 平成25年度の取組結果

- 割戻し・アローアンスについては、仕切価への反映に努めるとともに、縮小を図った。
- 適正な仕切価の設定及び個々の医薬品の価値に見合った価格交渉による単品単価取引を進め、一次売差マイナスの縮小を図った。

4. 今後の取引に向けた対応

- 割戻し・アローアンス等の考え方に対する共通認識を形成するなど、一次売差マイナス、割戻し・アローアンスの拡大傾向の改善に向けた議論を継続。
- 個別品目の適正な仕切価水準については、取引当事者による市場環境の変化を踏まえた市場データ等を卸側から提示し、個別に協議を実施。

日本医薬品卸売業連合会と日本保険薬局協会のWT (卸連) (NPhA)

1. 主な検討事項

日本医薬品卸売業連合会と日本保険薬局協会の合意事項のフォローアップ。

- ① 契約条件の事前明示とそれに伴う取引基本契約書に基づく覚書の締結
- ② 単品単価取引(価格交渉の方法の工夫)

2. 開催状況

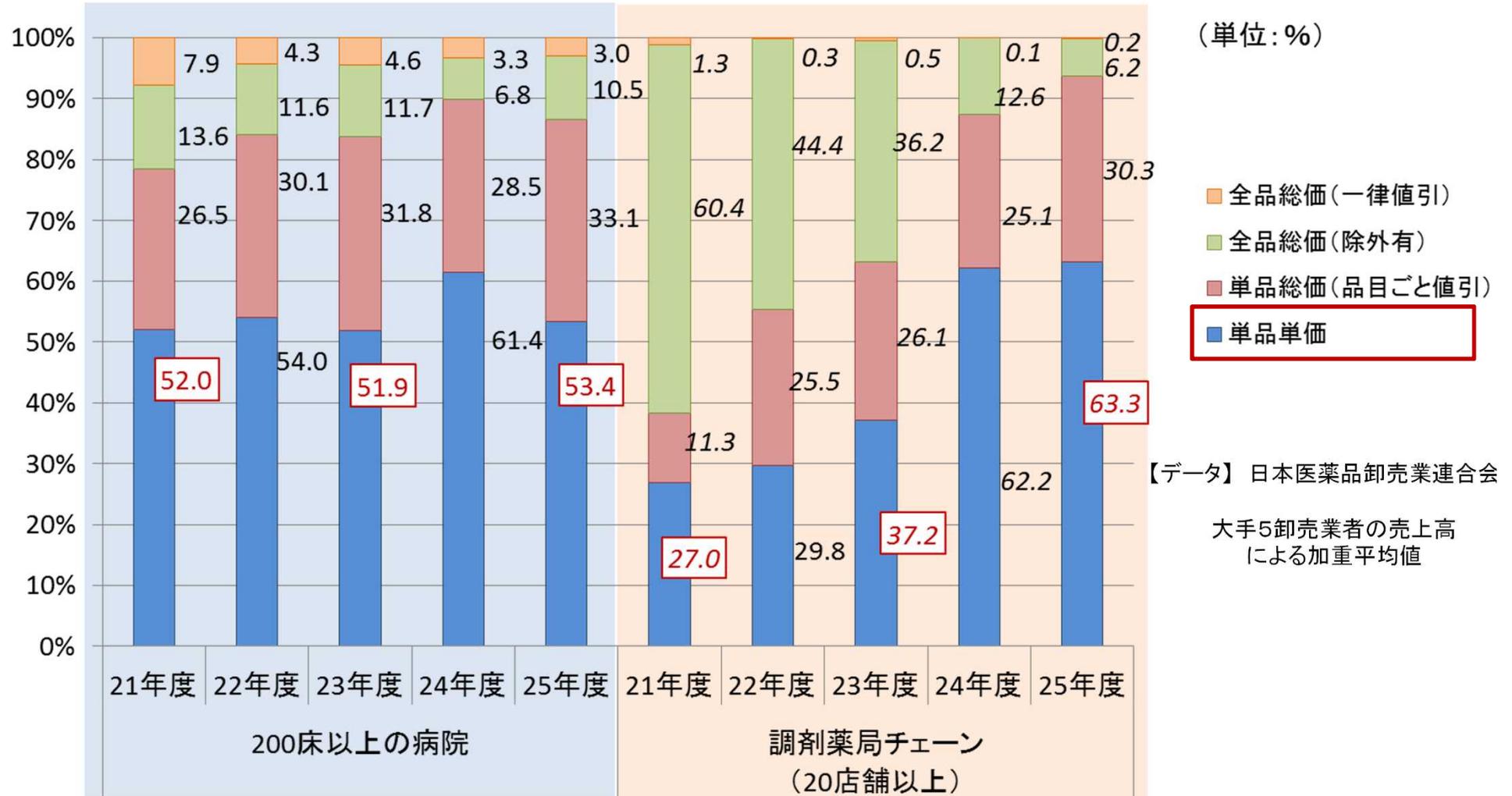
平成24年度 4回(6月、8月、10月、2月)

平成25年度 3回(5月、8月、1月)

平成26年度 1回(6月)

3. 単品単価取引の状況

卸と20店舗以上を有する調剤薬局チェーンの単品単価取引については、薬価改定2年目の平成21年度は27.0%、平成23年度は37.2%、平成25年度は63.3%と順調に増加。



4. 平成25年度の取組結果

- 平成25年9月取引分の妥結率は低調であったが、平成26年3月取引分については概ね妥結した。
- 単品単価取引は、理解度・浸透度が大きく進み順調に増加した。
- 価格交渉の長期化に伴い、取引の大半が妥結の合意までで覚書の締結には至らなかった。

5. 今後の取引に向けた対応

- 早期妥結に向け、速やかな価格提示・価格交渉を実施。
- 単品単価取引は順調に増加しているが、更なる推進に向けた取組を検討。
- 覚書については、様式の簡略化等により、締結を推進。